

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		認知症総合支援事業			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	健康福祉部
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実		所属課	高齢者支援課
	業務分野	28	高齢者の生活支援の充実		所属班	包括支援センター班 (内線) 1163
予算科目		会計	款	項	目	事業連番
		介護	11	3	6	11427
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地域において認知症高齢者と家族等を支えるためには、認知症への対応を行なうマンパワーや拠点などの「地域資源」をネットワーク化し、相互に連携しながら有効な支援を行なう体制づくりが必要であることから、地域における支援体制を構築し、その成果を各地に普及させることを目的に実施する事業である。具体的には認知症地域支援推進員を配置し、認知症の理解を深める講演会や見守りネットワーク作り等を実施している。 合志市でも高齢化は進み、認知症関連の相談も増えてきている現状がある。そのため平成21年度～22年度に行った県のモデル事業を足がかりに認知症に対する市民の意識を高め、地域での見守りネットワークの構築等を整備している。 認知症は誰でもなりうる病気であり、県内でも8万人(平成27年)以上の人が認知症であると推計されており、今後も増加することが予想されている。また、核家族の増加に伴い、認知症を支えるマンパワーの不足が懸念されている。住み慣れた地域で継続して暮らしていくことができるよう地域全体で認知症高齢者とその家族を支援する体制の整備を図っていく必要がある。
【業務の流れ】	認知症ネットワーク構築のための模擬訓練開催とその準備のための実行委員会開催 認知症家族のつどいやカフェの実施における支援 認知症地域支援推進員の配置、コーディネーターの配置。認知症啓発のための研修会の開催。キャラバンメイトの養成や、認知症サポーター養成講座における準備や講座の実施 認知症地域支援体制構築等推進事業として社協に委託
【主な予算費目】	職員手当等、旅費、需用費、役務費、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

地域において認知症の人とその家族等を支えるため、認知症への理解を深め地域との連携をとりながら、有効な支援を行うための体制の構築、啓発活動を行った。これまでのささえ愛ネットワークの登録にどこシル伝言板を導入し、保護時に速やかに家族に連絡が取れるような体制を整備した(登録者12人)。  
 ・家族のつどい: 4回開催12人  
 ・認知症カフェ: 12回開催282人  
 ・ささえ愛見守りシート登録(早期対応を目的に、認知症の人で徘徊の恐れのある人の登録): 20人  
 ・ささえ愛ネットワーク模擬訓練: 11/30 実施 延べ158人  
 ・認知症講演会: 9/14 実施 386人  
 ・認知症サポーター養成講座: 9回 延べ745人

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

ささえ愛ネットワーク模擬訓練や認知症家族のつどい・カフェを開催予定。認知症サポーター養成講座、認知症啓発講演会。

③予算の主な増減の理由

前年度どこシル伝言板ラベルシールを購入し現時点で充足していることによる需用費(消耗品費)の減

成果指標

ア 年度毎認知症サポーター養成講座修了者数

(単位)

データ取得方法

→イ  
ウ

人

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	人	745	559	800	737	800	800	800	800
事業費	国庫支出金	千円	1,832	1,433	2,369	2,314	1,649	1,649	1,649
	都道府県支出金	千円	576	655	790	763	746	746	746
	地方債	千円							
	その他	千円	8	660	156	122	736	736	736
	繰入金	千円	576	655	790	762	746	746	746
	一般財源	千円							
(A) 事業費計	千円	2,992	3,403	4,105	3,961	3,877	3,877	3,877	3,877

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

繰り返し講座や事業を行うことで、認知症への予防・理解が徐々に深まっている。今後も継続して行うことで、地域住民による見守り、支え合う体制が根付くように推進していく。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)